

## 自治協の定期総会は4月26日

== 代議員の皆さまよろしく ==

◇とき 4月26日(金)午後6:30～

◇場所 若穂支所2F大会議室

代議員は代表区長、区長、各団体代表などです。ご多忙の時期ですがご都合付けてご出席をお願いします。(ご都合がつかない場合は代理出席をお願いします)



春を告げる花、保科  
温泉の福寿草です

## 活躍するわかほっ子！ 全国大会出場で2組の顕彰



元気に「頑張ります！」



剣道はお母さんが代理で

新たに2組が全国大会を決めました。日本リトルシニア全国選抜野球大会(大阪)に出場するのは「長野若穂リトルシニア」チーム。メンバーの内、□□□・□□□□・□□□□・□□□□君の4名が若穂中学生です。また、全国高等学校剣道選抜大会(愛知)の団体選に出場するのは長野商業高校の□□□□・□□□□さんの2名。自治協は表彰規定に基づき区長総会の場で□□会長から支援金を渡し、大会での活躍を激励しました。

### 屋代線の跡地整備スケジュール示される (年度)

		25	26	27	28	29	30	31
線路敷地	自転車・遊歩道	→						
	踏切道整備	→						
綿内駅	駅前ロータリー	→						
	トイレ整備	→						
	駅舎整備	→						
	構内整備		→					
川田駅	トイレ整備	→						
	駅舎整備	→						
	構内整備		→					

\*レール、枕木等の撤去は25年度に実施します

## ご苦労さまでした・・・



◆3月14日、区長会は12の行政事務連絡区を代表する12人の代表区長と38人の区長が出席して決算総会を開きました。◆自治協会会長でもある□□区長会長が一年間のご苦労に感謝を述べるとともに、「住みよい若穂」「住んでいてよかった若穂」に向け更なる協力を訴えました。◆その後、事業活動や決算・予算、次年度申し送り事項などを承認。引き続き会費制による懇親会を開催して今年度の活動を締めくくりました。◆区長会を始め3月末をもって任期を終える各役員の方々に、本当にご苦労さまでした。若穂自治協は発足以来6年目に入りました。今後ともご支援、ご協力をお願いします。

# 宮下健司さんの講演は若穂への熱き思いに溢れていました

若穂には宮下健司ファンが多いですね。お人柄や話の上手さもありませんが、二度若穂中に赴任された縁から多くの人と交流があり、また若穂の歴史や文化の発掘・啓発にも長年努められてきたからです。若穂の良き理解者、応援者の宮下さん……。その講演はいつも若穂への熱き思いに溢れ、私たち自身が知らない、気がつかない若穂のすばらしさや価値を示唆してくれます。平成わかほ塾の宮下さんによる「若穂の歴史」(四回)は大変好評をいただきましたが、これで一旦終了です。



【宮下健司さんプロフィール】 県立歴史館総合情報課長、若槻小学校長などを歴任。若穂中は教員初赴任地で、その後教頭として再赴任。現在は長野市安茂里公民館長。長野市民新聞に『信州のサケ文化』を連載中。「保科誌」発行に向けて支援。信濃史学会員。□□□□在住。

2月24日の《平成わかほ塾》は約90名が参加されました。

◆シリーズ『若穂の歴史』最終回は、若穂とも縁があるNHK大河ドラマ『八重の桜』から始まりました。その縁とは、会津藩祖は保科正之→その出身は信州高遠の保科氏→保科氏のルーツはここ若穂保科というもの。(保科正之公を大河ドラマに！の運動も継続中)◆今回も7枚に及ぶ資料が準備されました。明治初期に綿内清水の東勝寺湧水でサケの養殖がおこなわれそのサケが明治天皇の長野県巡幸の際に献上されたこと、戦前に綿内山新田では銅の採掘がおこなわれていたこと、昭和30年代に松竹の木下恵介監督が若穂をロケ地に《野菊の如き君なりき》《風花》《笛吹川》の3本の映画を撮影したこと、松代地震では若穂にも大きな被害が出たことなど、いつもながらの豊富な内容で予定時間を超えて若穂の近・現代史が語られました。◆その後、スタッフとの茶話会にもご出席いただき楽しいひと時が持たれました。

## 《平成わかほ塾参加者アンケートから(通算8回時の結果)》

Q 過去、参加された回数は？

- ・今回が初めて 38 %
- ・1～3回 21 %
- ・3～6回 23 %
- ・7～8回 15 %
- ・未回答 2 %

Q 今後の、参加は？

- ・できるだけ参加したい 77 %
- ・その時の内容で考えたい 21 %
- ・出席しないと思う 0 %
- ・その他・未定 4 %

《平成わかほ塾》は□□□□塾長を中心に□□□□・□□□□・□□□□・□□□□・□□□□の皆さんによる運営委員会によって企画・開催されてきました。毎回好評をいただいておりますが、もっと若い人たち(できれば中高生)にも参加いただき、一緒に若穂の明日を考えたいと願っています。ご意見・ご要望・アイデアは事務局までお寄せください。

(電話 050-3583-5700 有線 2062 E-mail : wakaho.j@grn.janis.or.jp)

《平成わかほ塾》は創造的な企画で、若穂の「まちづくり」「人づくり」をめざします。これから明日が見えてきます。